

医療法人宏善会 諫早記念病院 院内掲示事項(令和7年 9月 1日現在)

管理者 病院長 山口義彦

診療医師 常勤 本川哲・山口義彦・高橋恵美・渡邊尚・木村和也・高橋和宏・高橋国宏・

鶴展寿・松尾由希恵・宮森龍誠・木下明敏・渡辺精一郎・野村慶英・浅原智彦

非常勤 中村龍文・北野幸英・緒方健志・塚本大空・松屋福蔵・本田幸治・石井辰洋・戸簾智加志

診療科目 内科・心臓内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内科・代謝内科・神経内科・

老年内科・アレルギー疾患内科・外科・消化器外科・こう門外科・整形外科・形成外科・

放射線科・リウマチ科・リハビリテーション科・麻酔科

診療時間 平日 午前9時～午後0時30分 / 午後1時30分～午後5時30分

土曜日 午前9時～午後0時30分 / 午後1時30分～午後4時30分

休診日 日曜・祭日・お盆(8/15)・年末年始(12/30～1/3)

※急患 救急病院のため、診療時間外・休診日も診療します。

◎当病院は保険医療機関です。

◎当病院は救急告示病院で長崎県央地域2次医療圏における救急協力病院です。

◎入院基本料に関する事項

1 当病院の一般病棟(2階病棟) 【急性期一般入院料1】

(1日の平均入院患者数29人(直近1年間(令和6年 9月 1日～令和7年 8月31日)の平均))

1日に平均14人以上の看護職員(看護師及び准看護師)と6人以上の看護補助者が勤務しています。

なお時間帯毎の配置は次のとおりです。

・朝 8時45分～夕方16時45分まで、看護職員1人当りの受け持ち数は4人以内、看護補助者1人当りの受け持ち数は8人以内です。

・夕方16時45分～朝8時45分まで、看護職員1人当りの受け持ち数は17人以内で、看護補助者1人当りの受け持ち数は34人以内です。

## 2 当病院の療養病棟(4階病棟) 【療養病棟入院基本料2】

(1日の平均入院患者数25人(直近1年間(令和6年9月1日~令和7年8月31日)の平均))

1日に9人以上の看護職員(看護師及び准看護師)と3人以上の看護補助者が勤務しています。

なお時間帯毎の配置は次のとおりです。

・朝 8時45分 ~ 夕方16時45分まで、看護職員1人当りの受け持ち数は4人以内、看護補助者1人当りの受け持ち数は10人以内です。

・夕方16時45分 ~ 朝8時45分まで、看護職員1人当りの受け持ち数は15人以内です。

## 3 当病院の地域包括ケア病棟(3階病棟) 【地域包括ケア病棟入院料1】

(1日の平均入院患者数45人(直近1年間(令和6年1月1日~令和6年12月31日)の平均))

1日に平均15人以上の看護職員(看護師及び准看護師)と7人以上の看護補助者が勤務しています。

なお時間帯毎の配置は次のとおりです。

・朝 8時45分 ~ 夕方16時45分まで、看護職員1人当りの受け持ち数は5人以内、看護補助者1人当りの受け持ち数は9人以内です。

・夕方16時45分 ~ 朝8時45分まで、看護職員1人当りの受け持ち数は25人以内、看護補助者1人当りの受け持ち数は49人以内です。

### ◎届出による医療について

1 当病院は、次の事項の施設基準に適合している旨、九州厚生局に届出を行なっています。

#### (1) 基本診療料等の施設基準

- ・急性期一般病棟入院基本料1
- ・療養病棟入院基本料2
- ・地域包括ケア病棟入院料1 (看護職員配置加算・看護補助者配置加算)
- ・地域包括ケア入院医療管理料1(生活療養)(看護職員配置加算)
- ・急性期看護補助体制加算 (25対1:看護補助者5割以上) (夜間50対1急性期看護補助体制加算)
- (夜間看護体制加算)

- ・診療録管理体制加算3
- ・療養環境加算
- ・療養病棟療養環境加算1
- ・感染対策向上加算2
- ・データ提出加算2
- ・後発医薬品使用体制加算1
- ・せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ・医療DX推進体制整備加算
- ・医師事務作業補助体制加算1(20対1)
- ・重症者等療養環境特別加算
- ・医療安全対策加算2(医療安全対策地域連携加算2)
- ・入退院支援加算1
- ・認知症ケア加算3
- ・栄養サポートチーム加算
- ・救急医療管理加算
- ・機能強化加算

## (2) 特掲診療料等の施設基準

- ・喘息治療管理料
- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・院内トリアージ実施料
- ・薬剤管理指導料
- ・在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
- ・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
- ・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ・CT撮影及びMRI撮影
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
- ・呼吸器リハビリテーション料(I)
- ・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
- ・保険医療機関間の連携による病理診断
- ・医療機器安全管理料1
- ・静脈圧迫処置(慢性静脈不全)
- ・糖尿病合併症管理料
- ・糖尿病透析予防指導管理料
- ・がん治療連携指導料
- ・別添1の「第14の2」の1の(3)に規定する在宅療養支援病院
- ・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
- ・運動器リハビリテーション料(I)
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・遠隔モニタリング加算
- ・胃瘻造設術(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術)
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)

- ・看護職員処遇改善評価料35
- ・入院ベースアップ評価料42
- ・二次性骨折予防継続管理料2

- ・外来・在宅ベースアップ評価料 I
- ・二次性骨折予防継続管理料1
- ・二次性骨折予防継続管理料3

◎手術(特掲診療料の施設基準に該当する手術)の実施件数(令和6年 1月 ~ 令和6年12月) 別途掲示

### ◎食事

当病院では入院時食事療養(1)、入院時生活療養(1)を適用し、管理栄養士によって管理された食事を適時(夕食は午後6時以降)・適温で提供しています。

◎入院期間が180日を超える入院について(厚生大臣が定める状態にある患者を除く)

1日 2,480円(通算対象入院料の15%相当:消費税別途)

### ◎保険外負担に関するもの

差額病床の利用を希望される方は、入院1日につき次の料金を負担していただきます(消費税込)。

特別室A 5,500円(338)

個室A 4,400円(206、207、211、212、213、215、216、217、306、307、308、310、311、312、313、315、  
316、317、337)

個室B 2,750円(202、203、218、220、221、302、318、320、321)

個室C 1,650円(228、326、327、331、332、333)

個室D 2,750円(405)

個室E 1,100円(205、305)

(1) 診断書・証明書については以下の料金をいただいております(消費税込)。

(諫早医師会協定料金)

入院証明書(生命保険用)1通 7,700円

診断書(当院の様式による簡単なもの) 1通 3,300円

その他の診断書、証明書1通 2,200円 ~ 7,700円

(2) 診察券再発行 1枚 110円

(3) テレビ冷蔵庫カード 1枚 1,000円

(4) 診療録の開示手数料(複写料) 11円/枚

(5) CD-R複写料(放射線画像) 110円/枚

(6) 松葉杖の貸出料 2,500円/本 (返却後返金)

(7) 領収書再発行料 330円

#### ◎診療報酬明細書の交付

診療報酬の区分・項目の名称及びその点数又は金額を記載した明細書が必要でない方は1階受付窓口で申し出ください。

#### ◎患者相談窓口について

(1) 当院では患者さま及びそのご家族の皆さまに安心して診療を受けて頂けるよう、患者相談窓口を設置しております。

詳しくは1階受付窓口(各階においては看護師詰所)へお問い合わせください。

(2) 相談内容

【療養に関するご相談】

【医療安全に関するご相談】

【医療費に関するご相談】

【その他の相談、ご意見等】

(3) 対応時間 9:00~17:30 (日曜祭日、年末年始(12/30~1/3)及びお盆(8/15)を除く)

(4) 相談後の取り扱い、相談情報の秘密保持等は当院の個人情報保護方針に基づき適切に管理します。

## 院内に掲示する手術件数（令和6年1月～12月）

1. 次の事項を満たしている場合には、○を付けること。

○	ア 手術（医科点数表第2章第10部手術の通則の5（歯科点数表第2章第9部手術の通則4を含む。）に掲げる手術を含む当該保険医療機関において実施する全ての手術）を受ける全ての患者に対して、当該手術の内容、合併症及び予後等を文書を用いて詳しく説明を行い、併せて、患者から要望のあった場合、その都度手術に関して十分な情報を提供している。
○	イ アにより説明した内容について、患者に文書（書式様式は任意）で交付するとともに、当該交付した文書を診療録に添付している。
○	ウ 胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術を行う際は、速やかに開胸手術や開腹手術に移行できる体制を整えている。
○	エ 関連学会から示されているガイドライン等を踏まえ、手術適応等の治療方針についての検討を適切に実施している。
○	オ 胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術について十分な経験を有する医師が配置されている。

2. 院内掲示をする手術件数

・区分1に分類される手術

手術の件数

ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	0
イ	黄斑下手術等	0
ウ	鼓室形成手術等	0
エ	肺悪性腫瘍手術等	0
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0

・区分2に分類される手術

手術の件数

ア	靭帯断裂形成手術等	4
イ	水頭症手術等	0
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0
エ	尿道形成手術等	0
オ	角膜移植術	0
カ	肝切除術等	0
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	0

・区分3に分類される手術

手術の件数

ア	上顎骨形成術等	0
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0
ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）	0
エ	母指化手術等	0
オ	内反足手術等	0
カ	食道切除再建術等	0

キ	同種死体腎移植術等	0
---	-----------	---

・区分4に分類される手術の件数

0

・その他の区分に分類される手術

手術の件数

人工関節置換術	176
乳児外科施設基準対象手術	0
ペースメーカー移植術及び ペースメーカー交換術	11
冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を 使用しないものを含む。)及び体外循環を 要する手術	0
経皮的冠動脈形成術	13
急性心筋梗塞に対するもの	1
不安定狭心症に対するもの	0
その他のもの	12
経皮的冠動脈粥腫切除術	0
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	1
経皮的冠動脈ステント留置術	20
急性心筋梗塞に対するもの	0
不安定狭心症に対するもの	1
その他のもの	19